

HONTAN

図書館ボランティア「本探」が
旬の図書館情報をお知らせします

第57号



7 PIECES

今回のテーマは
『青春を感じる本』
です!

『チア男子!!』

チアリーディングに青春を
かけた男子たちの物語です!!

朝井リョウ
913.6/A

レーの
セレクト

『永遠の出口』

少女の思春期・青春時代を
描いた9年間の物語。一緒に
青春時代を振り返って
みませんか。

森絵都
913.6/M

かなづち
の
セレクト

『風が強く吹いている』

箱根駅伝を目指す10人の
青春物語! たすきを繋いでいく
メンバーそれぞれの思いに感動
します!

三浦しをん
913.6/M

くーちゃん
のセレクト

『石の漠』

大学生が主役の爽快
青春小説。仲間の大切さを
実感させてくれます。

伊坂幸太郎
913.6/I

苺那の
セレクト

『スターガール』

高校に「スターガール」がやって
きた。奇抜なファッションなど
型にはまらない彼女に主人公は
惹かれていくが...

ジェリー・スピネリ
933.7/S

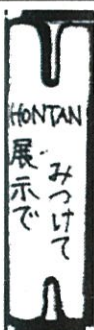
きいの
セレクト

『葉桜の季節に君を想うと いうこと』

人は死ぬまで、青春をすもの
なのです。

歌野晶午
913.6/U

あんこの
セレクト



〇×〇 学生展示 〇×〇

こんにちは。6月になりましたね。6月といえば... そう、父の日です
ね。実は、父の日は決まった日ではなく、6月の第3日曜日
にあります。今年の父の日は21日だそうです!! 今年はずれず感謝
の気持ちを伝えてみては? そこで今回の学生展示のテーマは
「家族愛」です。みなさんもこの本たちを読んで家族愛を感じて
ください。

くまの・レー

〇×〇 帯展示 〇×〇

新入生のみなさんは大学に慣れましたでしょうか。今回のテーマは『**女の闇**』
についてです! 人の心とは難しいもの。特に女心はい。女の心の奥にある闇
に触れる。そんな本を選んでみました。テーマだけ見たら怖いという印象を、
持つ人も いるかもしれませんが、面白そうな本ばかりです。みなさんどうぞ
読んでみてください!

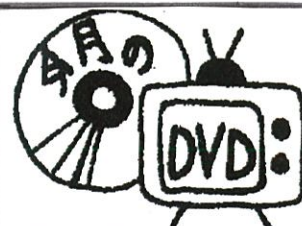
くさとう・かなづち

『青春と変態』

高校生男子の暴発するエネルギーを
日記形式の独自自調で綴った恋
あり笑みありの変態的青春小説、
或いは青春の変態小説です。

会田誠
913.6/A

ますーの
セレクト

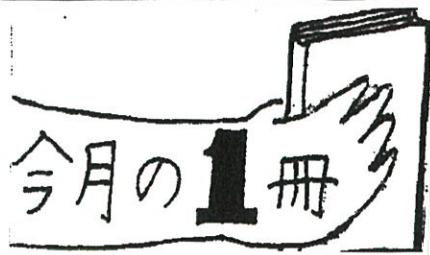


『恋空』

778.72/k

主人公・田原美嘉は身長が低いこと以外は普通の女子高生であった。ある日、1/2にPHSの番号を知られた
ことがきっかけで偶然、ヒロ(桜井弘樹)と知り合っつき合うことになる。ヒロは美嘉との交際には本気では
なかったが、次第に本気になっていく。ところがある日、ヒロは美嘉に突然の別れを告げる。美嘉は、ヒロが末期の
がんを患っており、「美嘉には幸せになってほしい」という願いから別れを選んだのだと知って、大好きな今の彼と別
れ、ヒロの元へ走る。ヒロは、適切な抗がん剤治療の甲斐もあり、髪の毛が抜ける程度の副作用で奇跡的に
3年も生き長らえるが、別れの時が来るのを食い止めることはできなかった。彼の死後、美嘉は彼の忘れ形見を身籠
っていることを知り、今度こそ産み、彼の分まで育てることを決めるのであった。

くろりゅう



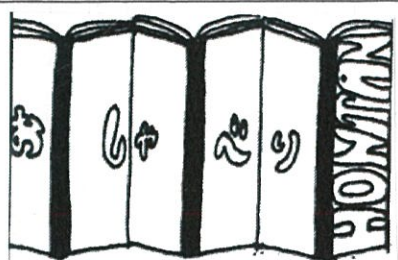
『クドリャフカの順番』 米澤穂信 9/13.6/14

どうも！いつも今月の一冊の担当をしているなって言われるますーです(笑)ところで、HONTANでは有名な作家さんでも一冊だけで終わってしまう、つまり同じ作者で続けることをしたことがなかったですよ？そこで今回は先月紹介した米澤さんのく古典部シリーズの第3弾で、一番ミステリー色を強くしている一冊です。当然のことながら人が死なないミステリー小説であることは変わら

ないので安心してください。内容は以下のようになっています。
—— 物語の舞台である神山高校の年間最大イベントであるカンヤ祭が始まった。しかし主人公折木奉太郎を初めとする古典部は出品する文集「氷菓」を発注の手違いで刷りすぎてしまい、大量の在庫を抱えてしまうことに。部員一同が頭を悩ませている最中、カンヤ祭に沸く校内では人知れず奇妙な連続盗難事件が幕を開けていた……。

といったものです。もし興味が出た場合は手に取って読んでみましょう！く古典部シリーズは現時点で既刊5巻です。これからも米澤さんの作品を紹介できるかどうか分かりませんが、機会があれば紹介しますね！

<ますー>



『長編 VS 短編』をテーマにホントンメンバーがおしゃべりします！

- きい：みなさんは長編と短編どちらを好んで読みますか？
- nao：短編です！短編の方が短くて見やすいし、時間がない時などに見れるからです！
- 鶏：長編です！長編だと長い間小説の世界観に浸れるので。短編でもシリーズものを読むことが多いですね。
- きい：私も長編ですね。シリーズものだと主人公の成長が感じられるので好きです！
- かなづち：私は短編です！時間がないときやちょっとした待ち時間で読めるので、短編が好きですわね！
- くーちゃん：長編です！私は本を読んでいる時、後半ぐらいの結末までもう少し！という時が好きなので、短編だとそれが短く感じます。
- ますー：長編です！短編よりも、ゆくり物語が進行するので、内容理解がしやすいので。
- 笹那：どちらも捨てがたいですけ

- ど短編ですかね…！この作品、好きだー！って買った時に何回も読み返せるのが楽しいです
- きい：なるほど。短編も捨てがたいですね。私はショートショートだと適度にページを開いてそこから読むのが好きで、エッセイや語録のような本は特にそうします。
- りゅう：私は長編ですね！長編だと主人公の気持ちにも入りやすいです！
- EI：最近短編ですね。短編は短時間で読めますし内容を忘れることがないので読みやすいですね！
- ナンシー：長編です！分量が多いものの方が少し満足感が得られるのと、短編と比較すると内容も糸田部まで書かれています！
- しー：私は、本は短編の方が気軽に読めるので好きです。

【まとめ】
ホントンメンバーの長編派、短編派はおおよそ半々という結果になりました。長編派はストーリーを重視し、短編派は手軽さを重視しているように感じました。みなさんはどちら派でしょうか？おしゃべりHONTAN内では私は曖昧な立場に見えますが、長編派です。ですが、いつか長編の本、短編の本、それぞれのメリットを使い分けた読み方ができたら…と思います。

<きい>



今回取り上げる雑誌は「HO」。これで「ほ」と読みます。「HO」は、北海道の旬な情報やおすすめスポットを、独自の視点から紹介する北海道の情報雑誌です。

今号の特集は「函館」！王道の観光地五稜郭タワーや函館山、赤レンガ倉庫から、レストラン、おしゃれなカフェ、小さな和菓子屋にラーメン屋、魚屋、雑貨屋、銭湯、お寿司屋さんetc…。有名どころから地元の人しか知らないような小さな名店まで幅広く紹介されています。

基本的に、ページ1枚が丸々1つのお店の記事に割かれているので、気になったお店について、たっぷりの写真とともに詳しく知ることが出来ます。息抜きたっぷりの観光地函館。この雑誌で気になるお店をピックアップしてから遊びに行けば、何倍も楽しめること間違いなしです！

<笹那>

編集後記 6月になりましたね。思えば、先月はゴールデンウィークがあり、休みも多かったのですが、今回は祝日がなく、少しケレリリしてしまっている。授業もいよいよ後半戦、だらけていられてはいけませんね…！

<きい>